

1 - 2 1973年根室半島沖地震後の北海道東南部における地殻垂直変動 Vertical Crustal Movements in the South-Eastern Part of Hokkaido after the 1973 Nemurohanto-oki Earthquake

国土地理院測地部
Geodetic Division, Geographical Survey Institute

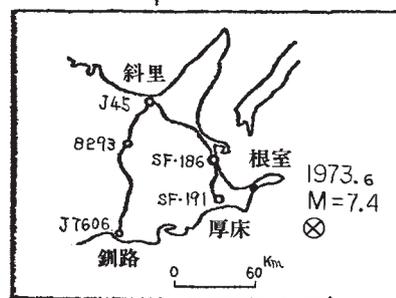
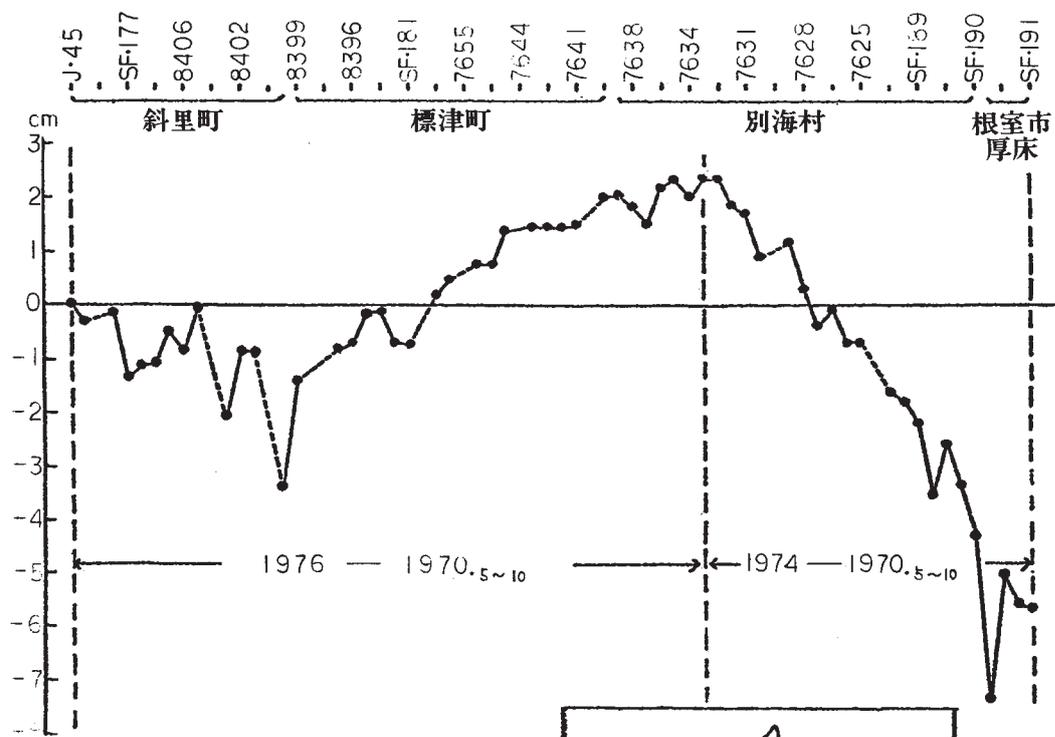
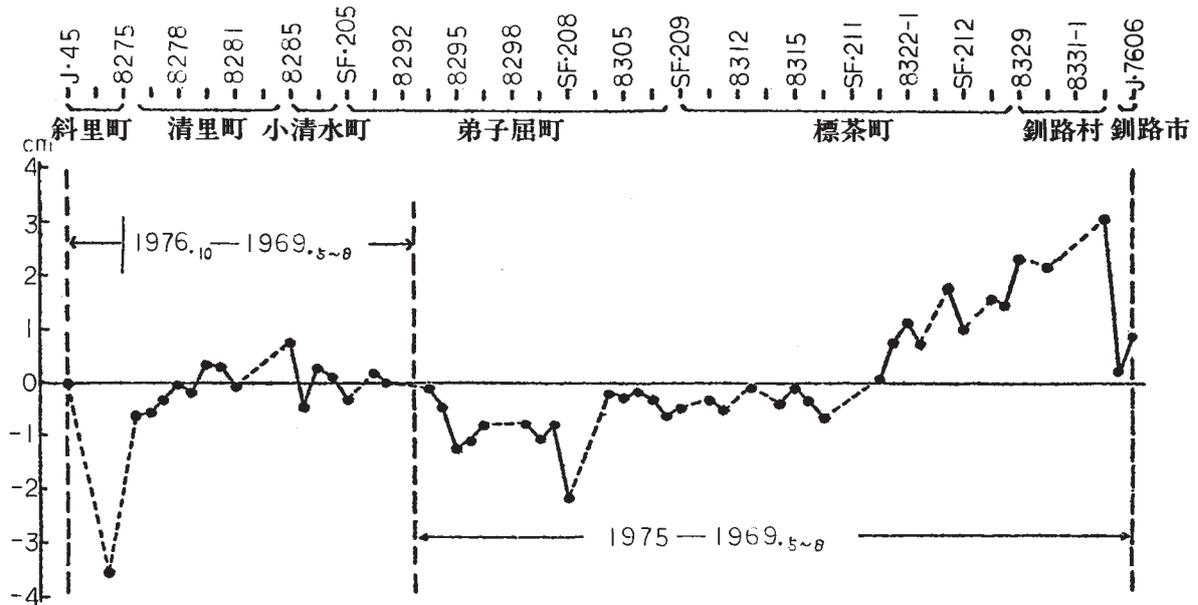
1973年根室半島沖地震後の北海道東南部における地殻変動については、1974年夏までの結果¹⁾および1975年秋までの結果²⁾はすでに連絡会報上に報告されている。なおこれらの結果に対する検討もなされている³⁾。今回、弟子屈より斜里、別海より斜里までの水準測量が終了し、地震後3年余りかゝって北海道東南部の測量が完了した。

第1図に各路線ごとの変動図を、第2図に今までの結果をとりまとめ、コンターで垂直変動を示した。

厚床あたりを中心とした沈下は1973年根室半島沖地震の低角逆断層運動による効果として理解できる。標津および釧路北方の微小な隆起は、厚床中心の沈降に対応する島弧側の隆起とも考えられるが、この隆起のひろがりまたそのメカニズムとも今後の検討が必要である。

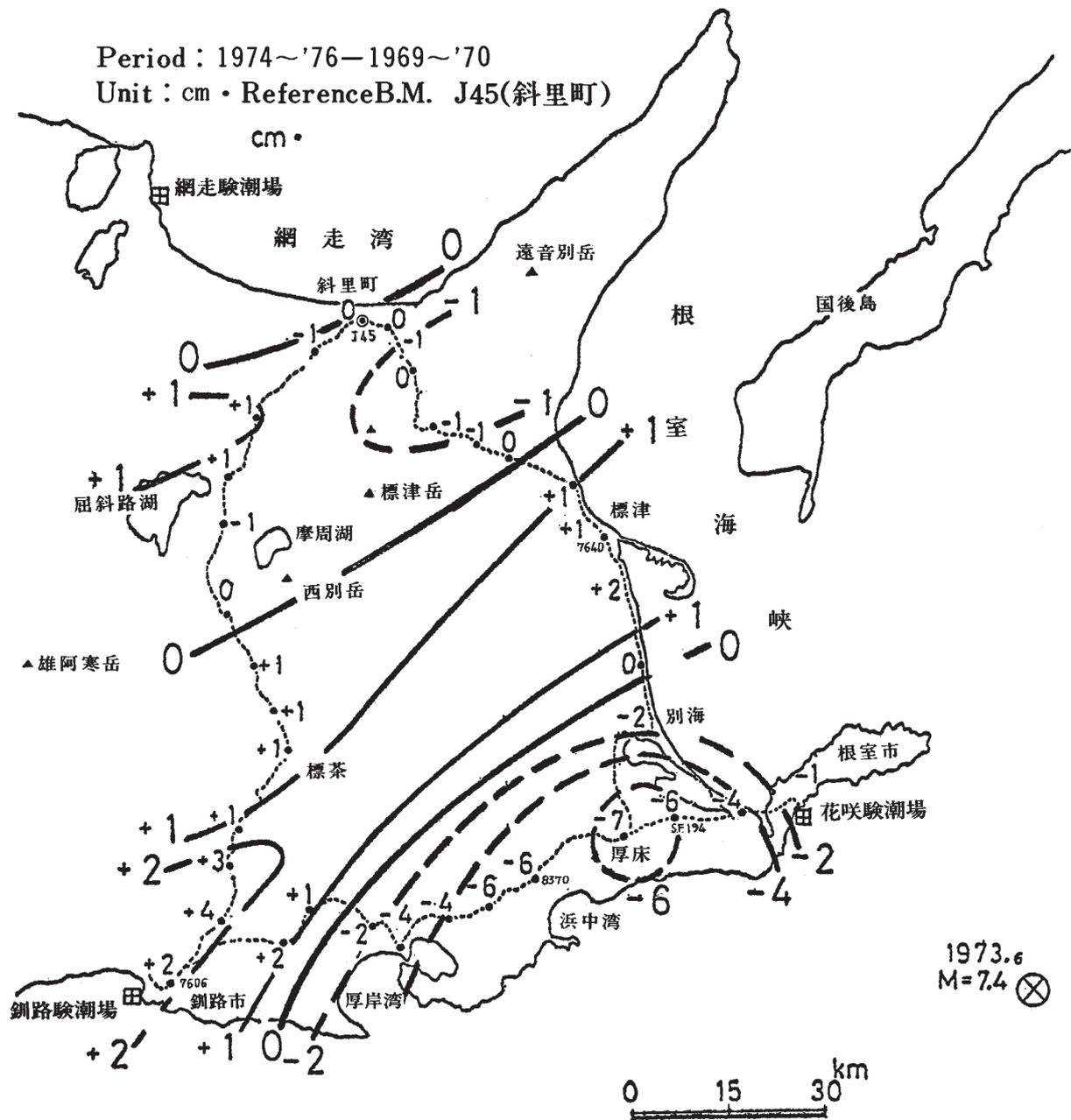
参 考 文 献

- 1) 国土地理院, 1973年根室半島沖地震後の北海道東南部における地殻変動, 連絡会報, 13, 1975, 1 - 3.
- 2) 国土地理院, 北海道東部の上下変動, 連絡会報, 15, 1976, 11 - 14.
- 3) 地震予知連絡会地域部会報告, 1, 1976.



第1図 北海道東南部の水準路線にそう地殻垂直変動

Fig. 1 Vertical crustal movements along the level line in the south-eastern part of Hokkaido.



第2図 北海道東南部の垂直変動 (期間 1969 / 70 - 1974 / 76)

Fig. 2 Vertical crustal movements in the south-eastern part of Hokkaido (period 1967/70-1974/76).